

最近、消化管の follicular lymphoma が増加しているが、一定の標準的治療法が確立しておらず、その長期経過についても不明な点が多い。また、治療法選択のためには正しい診断が不可欠である。そこで、消化管 follicular lymphoma の病態と診断・治療の現状を明らかにするために本号が企画された。

病理学的側面からは、follicular lymphoma には多様性があることや生検診断の注意点(特に濾胞構造をとらない成分の評価)、診断と悪性度評価に染色体転座や BCL-2 遺伝子再構成、種々の染色体異常が有用であることなどが示された。

臨床的側面からは、十二指腸に好発するが空腸・回腸にも高頻度に変病がみられるので全消化管の検査の重要性が強調され、画像的には顆粒状隆起以外にも MLP (multiple lymphomatous polyposis) 様隆起や SMT (submucosal tumor) 様隆

起、さらには明らかな異常を認めないものまで多彩な像を呈することが示された。

治療的側面からは、rituximab 単独投与や CHOP (cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine, prednisolone) との併用の化学療法が一般的であるが、その他の薬剤との併用する施設もあり、さらに限局性病変の場合の放射線治療の有用性に関しても触れられている。また、無治療で経過観察する watch and wait も含めた治療方針決定には、病期と組織学的 Grade を考慮していることが多く、それらと予後との関連も示された。

以上のように、消化管 follicular lymphoma の臨床病理学的特徴がかなり明らかにされ、治療法選択の基礎も示され、明日からの臨床に有用な特集号となっていると思われる。今後、症例をさらに集積して追試するとともに、新たな分子生物学的診断法や治療法の開発を期待したい。

胃と腸

7月号(第43巻・第8号)予告

発売予定
定価7月25日
2,625円

主題／胃癌に対する内視鏡スクリーニングの現状と将来

序 説 主 題

- 胃がん検診ガイドラインの解説と今後の課題 藤田保健衛生大学・内科
胃がん検診ガイドラインの問題点 国立がんセンター予防検診センター
胃癌のスクリーニングとしての内視鏡検査の現状と問題点 東邦大学・消化器内科
一住民検診の立場から 福岡県対がん協会
一人間ドックの立場から 済生会熊本病院・消化器科
一病院受診者の立場から 札幌厚生病院・胃腸科
胃癌スクリーニングにおける内視鏡検査の有用性 早期胃癌検診協会
一X線と対比して 新潟県立がんセンター・内科
胃癌の内視鏡スクリーニングの死亡率減少効果 福井県立病院・外科
一検診の立場から 国際医療福祉大学熱海病院・内科
X線検診との比較における内視鏡検診有用性評価 仙台大病院・消化器内視鏡センター
胃癌に対する内視鏡スクリーニングー私はこうしている 信州大学・内視鏡科
..... 国立がんセンター中央病院・内視鏡科
..... 乾内科クリニック
経鼻内視鏡による胃癌スクリーニングの現状と問題点 和歌山医科大学・消化器科
経鼻内視鏡による胃癌スクリーニングの現状と問題点 和歌山医科大学・消化器科
胃 MALT リンパ腫の経過観察中に発見された急速進行性胃癌の1例 信州大学・消化器内科

- 芳野 純 治
濱島 ちさと・他
三木 一正・他
古川 敬一・他
満崎 克彦・他
萩原 武・他
吉田 論史・他
加藤 俊幸・他
細川 治・他
小山 恒男・他
川口 実
三島 利之・他
赤松 泰次
角川 康夫・他
乾 純和・他
一瀬 雅夫・他
長屋 匡信・他

主題症例

胃と腸 (第43巻 第7号)

編集 早期胃癌研究会

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5714

FAX (03) 3815-7802 / 3815-7982

E-mail: itc@igaku-shoin.co.jp

http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/itocho/

2008年6月25日発行(毎月25日発行)

1部定価 2,625円(本体2,500円+税5%)

2008年年々ぎめ予約講読料 36,410円

(増刊号 5,985円を含む13冊)(送料弊社負担)

☎ 販売部直通 (03) 3817-5659

振替口座 00170-9-96693

印刷所 永和印刷(株)

広告取扱 (有)文京メディカル

☎ (03) 3813-5001

☎ (03) 3817-8036

・早期胃癌研究会は、当研究会、早期胃癌検診協会およびエーザイ株式会社の三者の共催で行われている。

・Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2008, Printed in Japan.

・本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。

・JCLIS <(株)日本著作出版権管理システム委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつと事前に(株)日本著作出版権管理システム(電話 03-3817-5670, FAX 03-3815-8199)の許諾を得てください。

・医学書院ホームページ(インターネット) <http://www.igaku-shoin.co.jp>

(担当)天野・能藤・塩田・中田